

昨年度評価(R4年度)								
【主たる中施策事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_関連する重点事業名	3_総合評価	4_R4年度決算①	5_R5年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識	7_所属
4	いじめ不登校対策充実事業		B	28,956	32,149	3,193	コロナ感染者数は、落ち着きを見せているが、長期間にわたる影響は大きく、不登校児童生徒数は増加傾向にある。不登校事由についても、様々な問題が複合的に関わっており、解決には大きな課題を抱えている。支援体制もSC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)を中心に福祉部門とも綿密に連携を取り合っており、今後も、関係機関と連携を取りつつ、QUアンケートの活用やSVの指導を受けつつ問題の解決を図っていききたい。	学校教育課
38	学力向上対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校水泳運動指導業務委託事業</li> <li>豊明セーフティプラスワン事業</li> <li>少人数学級の実施に係る任期付市費負担教員配置事業</li> <li>市制50周年記念事業「陶芸体験」</li> </ul>	B	73,729	132,411	58,682	水泳運動指導、イングリッシュキャンプ等それぞれの事業が、長期化しているコロナに順応することにより事業を推進してきた。また、ようやくICT機器を活用した学習環境にも定着が図られ、児童生徒においても基本的な学習手段とされている。市費で導入している少人数学級編成もきめ細やかな教育に大きな効果が発揮されている。今後は、館小学校で実施されているセーフティプラスワン事業について、他校で実施している放課後子ども教室との整合性について検討を進めていく。	学校教育課
38	指導力向上事業		B	14,081	3,795	-10,286	一人一台ずつ配置したタブレットを使った教育環境は、学校現場で一定の定着が図られているが、より効果的な活用については、教職員の技量や意識によりバラツキが見られる。ICT支援員やGIGAスクールサポーターの活用により、ICTリテラシーの向上を引き続き図っていく。国や県より先行的に導入している少人数学級制についても、メリットを享受できるように、市費で採用した職員に対しても研修等を実施していく。	学校教育課
38	定住外国人児童生徒支援事業		A	39,588	41,973	2,385	プラスエデュケートや国際交流協会との連携及び日本語指導専門員の配置により、日本語初期指導については適切な指導が行われている。本事業導入時に比べ、年々多国籍、多言語化が進み、また該当児童生徒についても市内各校に分散した状態になっている。今後は、各校に配置している日本語指導担当教員の指導力向上や外国語が話せる指導員の配置により、拡大する多言語化に対応していく。	学校教育課
38	特別支援教育事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育指導員配置事業</li> </ul>	A	101,964	111,516	9,552	毎年増加し続ける支援を必要とする児童生徒に対して、必要とされる特別支援教育支援員を各校に配置し、きめ細やかな教育支援を行っている。今後は新たに採用した特別支援教育指導専門員を活用し、各校に配置されている特別支援学級や通級指導教室の担任に対して、児童生徒一人ひとりに障害の程度や種別による指導ができるように技量の向上を図っていく。	学校教育課
28	放課後育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室委託事業</li> <li>放課後子ども教室整備事業</li> </ul>	A	172,501	194,010	21,509	所管が分かれていた「放課後子ども教室」、「児童クラブ」の窓口が、学校教育課に統合されたことにより、委託事業先との連携を含め利用者に対するサービス向上が図られた。また、増え続ける利用希望者に対しても機動的に対応してきた。今後も利用者も声をよく聴き、利用者ニーズをしっかりとキャッチしていく。さらに、学校内で放課後子ども教室を開催できていない館小学校についても、引き続き学校内での開催を模索していく。	学校教育課
13	小中学校施設維持管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校防犯カメラ設置事業</li> <li>小学校屋上防水等改修事業</li> <li>大宮小学校仮設校舎建設事業</li> <li>小学校外壁改修等事業</li> <li>中学校トイレ改修事業</li> </ul>	B	867,740	772,560	-95,180	老朽化が進む学校施設においては、防煙シャッターの改修や屋上防水工事といった安全性を第一に考え改修工事を行ってきた。また、緊急性が求められる改修については、補正予算を編成するなど随時対応もした。今後も計画的に行われる大規模改修工事を見据え、児童生徒が安心して学校生活を送れる環境整備を行っていく。	学校教育課
21	学校給食事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食の充実補助事業</li> <li>給食センター栄養調理上調理業務委託事業</li> </ul>	B	439,247	427,801	-11,446	栄養教諭による献立の工夫や栄養指導により、児童生徒に対して食の重要性を周知してきたが、コロナ禍の影響もあり、残菜量は漸増傾向にある。また、子育て支援政策の一環として、給食費の減額をするとともに、高騰する食材費に対しても市費で対応するなど時勢に適応した運営を行ってきた。今後も美味しいと定評のある本市の給食が滞りなく安定的に提供できるように努めていく。	学校教育課
17	文化財保護事業		A	10,330	9,229	-1,101	各種事業において、天候に恵まれたことやコロナ禍に適応した事業運営を行ったことにより、コロナ以前と遜色のない来場者があった。また、歴史民俗資料室がリニューアルオープンし、ワークショップや各種講座も実施し盛況な運営となった。今後も、魅力ある講座等を企画することにより新規来場者の増加を図るとともに、リピーターにも魅力ある事業運営を行っていく。	生涯学習課
21	公民館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>とよあけ市民大学ひまわり講座運営委託事業</li> <li>市制50周年記念陶芸教室事業</li> </ul>	B	21,063	78,903	57,840	リニューアル工事を予定していた南部公民館がコロナワクチンの接種会場となったため、利用者数の増加が抑えられた。市民大学「ひまわり」の市民講座も年々充実しており、参加者数も増加している。令和5年度は南部公民館のリニューアル工事を実施し、従来から利用している人たちだけでなく、若い世代を中心とした新規利用者の拡大についても努めていく。また、記念事業として開催された「陶芸教室」は、著名な陶芸家を講師としてお招きし市民に大変好評であった。	生涯学習課
	図書館資料貸出事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館資料拡充事業</li> <li>図書室書架購入事業</li> </ul>	B	37,320	42,621	5,301	貸出冊数と新規登録者数については、目標値には達していないが、安定した利用者数を維持している。館内においても「おすすめ本コーナー」や「今月の本棚」を引き続き設置したり、「ビブリオバトル」や豊明高校生による「しおり作り」など新規事業も企画することにより、来館者数の増加策を講じた。今後もアンケート等を実施するなど利用者のニーズを的確に捉え、利用者が来館したくなるような施設運営をしていく。	図書館

※事業が関連するめざましの姿の番号です。

「3\_総合評価」から「6\_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。